

第7回冬季アジア大会2011 スキーオリエンテーリングが正式競技へ

武石雄市

冬季アジア大会は新たに若者へ夢と希望の火を灯した！

IOF 悲願のオリンピックゲームへ近づいたか？
ルストツ世界選手権 2009 からアジア冬季大会 2011 へ、聖火目指して上昇のスキーオリエンテーリング！！



アジア大会のエンブレムとマスコット



求めに応じてヨーロッパの若いアスリートと写真に納まることもある。アジアのスキーオリエンテーリング仲間とこのような光景が見られることも遠いことではないだろう。

■希望の灯は点っていた■

2月9日、私はルーマニア (Miercurea Ciuc) で衝撃的なニュースを聞いた。

第7回アジア冬季大会 2011 年の競技に OCA (アジアオリンピック評議会) がスキーオリエンテーリング競技の正式開催を認めた事実である。

私たちはスキーオリエンテーリングの WC (ワールドカップ)、EOC (ヨーロッパ選手権)、JWOC (世界ジュニア選手権)、WMOC (マスターズ世界選手権)、EYC (ヨーロッパユース選手権) 開会式の市中行進スタートに集まっていた。

日本選手は WC 参加の堀江守弘君と二人だけだ。国旗とプラカードを持った少年少女が私たちを待っていた。

行進はアルファベット順で日本はカザフスタンの前。私は冬季アジア大会の情報を聞き出すため世界選手権モスクワ大会以来、顔見知りイリーナ (コーチ) から決定的な言葉を聴いたのである。

私は 1 人で興奮した。かすかに期待はしていたがモスクワ以来、OCA 情報が乏しく希望の灯が消えそうな時期だったのである。

セレモニー会場に向かう途中、私は足が地に着かないほどうれしく、来場を歓迎する市民にまで感謝の気持ちだ。

■オリンピックへのステップ■

14 orienteering magazine 2010.06

バンクーバーオリンピックは国内外に様々な話題を残し平和裏に閉幕した。

遠く離れたルーマニアワールドカップイベントセンターでは IOF (国際オリエンテーリング連盟) から派遣された SEA (シニアイベントアドバイザー) が、華やかなオリンピックゲームを横目で睨みながら神経質に運営のアドバイスをしていた。

大量の降雪でスキートラックの設定不能に陥り大幅なスタート時間の変更、輸送バスのトラブルは、日没で他の競技に影響を及ぼすことを承知であったが、とにかく競技成立を最優先に指示していたことを私は 1 人願っていた。

ソチオリンピック 2014 (ロシア) でのスキーオリエンテーリング開催の夢が破れて早 6 年、IOC (国際オリンピック委員会) から指摘された条件を、IOF (国際オリエンテーリング連盟) は組織的な支援で一つ一つクリアしてきた。

一つは世界選手権を日本 (ルストツ 2009) で開催し成功させたこと。

一つは、この 3 月 Aosta Valley (イタリア) で CISM (国際スポーツ軍人協議会) 国際スポーツ軍人大会の第 1 回冬季大会でスキー O 競技を開催したこと。(注 1)

更に 2011 年冬季アジア大会が正式競

技に決定したことでオリンピックへのステップを着実に刻んできた。

これらの実績を踏まえてソチの次となるの 2018 年冬季オリンピックでのスキーオリエンテーリング開催を目指して、IOC に印象を与えるためには 2010 ~ 11 年シーズンが正念場なのである。

IOC 総会は 2011 年南アフリカ・ダーバンで開催される。ここで 2018 年冬季オリンピックの開催都市と新競技の採択議案が採決される。(注 2)

ワールドカップ 2010 報告書と世界選手権 2011 報告書内容が IOC プログラム委員会に与える印象でスキー O の採択可否が左右される。



おしゃぶりをくわえる娘 (Bogdana) を抱きながら雪の会場を走り回るイリーナ

■ 正式競技への貢献者 ■

イリーナ - 彼女が第7回冬季アジア大会にスキーオリエンテーリングを正式競技にさせた最大の功労者だ。

2006年1月に冬季アジア大会2011がカザフスタンに決まってから、カザフスタン政府は国の威信をかけてスポーツ施設の工事と改修、選手強化に国家予算をつぎ込んできた。その中で当初からスキーオリエンテーリングの正式競技化に働いたのがイリーナなのである。

イリーナもまたスキーオリエンテーリングのオリンピック実現可能性を信じて、ジュニアからシニアの選手育成、連盟の管理者、スキートレーナー、ナビゲーションコーチ、ワックスマン等優秀なスタッフ陣と共にナショナルチームとWOCやWCを転戦、今年はそれが実って成績も各種目で複数の選手が入賞レベルに上昇してきた。

スポーツ政策を重視しているカザフスタンスポーツ界の中で主要な地位にあり、スポーツによる国際平和に貢献している人物となっている。

選手たちもまた「私たちのコーチ」「私のコーチ」と慕っていてチームワークも良くコーチの期待に応えている。

私はイリーナと選手を傍観して羨ましく思った。IOFも彼女に最大の賛辞を贈っている。



開会式で隣同士の日本とカザフスタン

■ アジアのスキーO事情 ■

アジア大会の正式競技になっても決して手放しで喜んではいけない。

スキーOには大会実施できる積雪されたトレインが必要であり、競技技術・運営技術が普及の両輪であること。

アジアの加盟国でスキーO世界選手権やワールドカップに参加しているのは日本とカザフスタンの2カ国だけ。OCAは4カ国以上の参加条件を課している。

IOFは幸いに仕事で中国に滞在中のマルック・前スキーO委員長(ノルウェー)に東アジア諸国の普及活動にプロジェクト援助の責任を与えて委嘱し、彼は精力的に行動している。

中国は学校教育もオリエンテーリングを実践していると聞くので体制的問題はないと思うが、2018年冬季オリンピック開催候補として名乗りを上げている韓国にはスキーO競技を含ませるよう、韓国オリンピック委員会とも積極的に対話し、韓国連盟にもスキーO選手増加とスキーOイベントの拡大を目的とするIOFの戦略的イニシアチブの理解を得る事に努めている。

取り分けモンゴルは地形的気象的にスキーOトレインの最適国であり、モンゴル軍と軍人に国際スポーツ軍人大会冬季大会に参加するならば援助を明言している。

マルックは指導のため、この秋にはウランバートルの訪問を予定している。

現時点では「アルマティ アジア大会」の参加国としてカザフスタン、日本、中国、韓国、モンゴルであろう。

■ 強敵はカザフ? 中国? ■

カザフスタンの実力を昨年までは、日本と同等レベルと甘く見ていた。アジアでは日本が入賞メダルを大量に獲得できると甘く踏んでいた。

今シーズンのワールドカップ成績を見て、その認識は変える必要がある。

カザフスタンはルーマニアワールドカップに男女各4名エントリーし、成績は男女とも確実に上位にランクしている。

特にW21のオルガ・ノビコワ選手はスプリントで銅メダルを獲得、ミドルでも4位入賞、リレーも強豪国を相手に3位でアンカーにリレーしている。

ロシア系選手の移籍があったようだが、国策でアジア大会を成功させる手段としても、ルール上違法ではないし、開催国であり日本チーム最大ライバルとして、敬意を持ってカザフスタン選手を意識する必要がある。

また中国が参加した場合、その実力分析は皆無であり、フットOの例を見るまでもなく、侮らず恐れず態度をもって望むことが求められる。

■ 日本のスキーOについて ■

2009年ルツツでの世界選手権が終わって日本のスキーオリエンテーリング選手たちはモチベーションの方向性を失いつつあった。

筆者は今回の朗報を得てアジア大会に派遣を想像し、関係者としてスケジュール確認をJOC(日本オリンピック委員会)に問い合わせた。驚いたのは、オリンピック競技を目指しているJOAがJOCに未加盟であること。

当初は真剣にSAJ(日本スキー連

盟)に選手登録を模索した。その後の情報でJOAが機敏に行動し、選手側の負担が掛からない状況を理解し、胸を撫で下ろした。しかし、派遣決定までは一山も二山も越える努力と覚悟が必要と認識している。

JOCは財務的な現状から厳しく査定することが予想される。正規競技でも枠の数でおいそれと派遣はしません。

メダル候補や入賞候補が居て初めて派遣検討に該当し、特に個人種目は世界選手権成績を重視する。現在世界選手権20位以内選手の不在が懸念材料だ。

アジア冬季大会ではリレーが開催されるので、現在の参加国メンバーで入賞は期待できる。リレー選手の派遣に期待を持つこととしよう。派遣が認められると男女各3名の選手プラス補欠の4名、それで個人種目参加も解決される。

■ 競技はメディア志向 ■

IOFはオリンピックを意識し、個人種目のエクストラロングディスタンスとチーム種目としてミドルリレーの外にスプリントリレーをルール化した。

世界選手権2011ではスプリントリレーが正式種目として登場する動きがある。選手及び強化関係者は滞滞無く対策を講じてほしい。

オリンピックファミリーになることは国際平和の道を歩くことに通じる。



日章旗とシャパンに誇りを持って

(注1): CISM(国際スポーツ軍人協議会)は1948年創立、加盟国は131カ国。3月の第1回大会(イタリア)でロシアのエドアルドが優勝した。

日本は非加盟で参加できない。

(注2): 開催地にピョンチャン(韓国)が立候補予定、競技種目の採択競技団体はIOFの外に数団体がキャンペーン中。

(日本SKI-O研究会 武石雄市)